

肥田地区、濃南地区（土岐市）

【地域の概要】

- 本市は、市域面積の約65%が山林で、中山間地域の小規模な農地が多く存在している。
- 耕地面積は262ha、うち、担い手への農地集積面積は約13haである。
- 中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金を活用し、遊休農地の発生防止に努めている。
- 平成28年に新規に農事組合法人が設立され、これまでに8.2haが農地集積された。

取組開始前の状況や課題

- 「農地を貸したい」との問い合わせは多く寄せられるが、小規模な農地が多く、担い手が希望する生産性の良い土地が少ないため、集積に繋がらない。
- 農家の高齢化や後継者不足により、耕作されていない農地が多く存在している。
- 耕作放棄地となる前に、担い手への貸し付けができるような体制を作ることが必要。

取組内容

- 田畑を探しているという相談者に対し、耕作されていない農地の所有者との橋渡しを行い、集積を進めた（継続実施）。
- 農業委員・農地利用最適化推進委員による、土地現況確認及び荒廃農地調査を実施。土地周辺の地元の方への聞き取りや、所有者への確認を実施した。

今後の展開と方向性

- 規模拡大を検討している担い手と、貸付を希望される農地所有者間のマッチングが円滑に進むよう、担い手の借受希望を聞くなどして、両者間の橋渡しを実施する。
また、貸借にあたっては、貸し手・借り手の双方に対し、農地中間管理事業の活用を働きかける。
- 耕作されていない農地をリストアップし、担い手に紹介する。
- 平成28年に新規に設立された農事組合法人など、今後、農地の借受が期待される担い手の支援を行う。
- 市内に2つある人・農地プランの実質化に向け、地元での検討会の開催・調整などを行っていく。